

家庭での様子（中学校期）

記載例

- 家庭でのお子さんの様子について、気になること、支援や配慮が必要なことについて（分かれば対応の仕方も）記入をしてください。
- 変化があった時に更新するとお子さんの成長の記録になります。

記入日	年	月	日	名前	記入した時の年齢	歳（年生）
-----	---	---	---	----	----------	-------

身の回りのこと・生活

食事 排泄 着替え 睡眠 片づけ 清潔 その他

（例）

- ・エビ・カニ類にアレルギーがあります。間違っていると顔が赤くはれてきます。
- ・お箸が苦手ですpoonやフォークを使って自分で食べる。
- ・排泄は一人でする。
- ・着替えは全て自分でしますが、ボタンがずれていても気づかないので、声掛けをお願いします。

対人関係・集団生活

友達とのかかわり 集団行動

（例）

- ・好きな子がいるとまとわりついてしまい、距離感が分からない。
- ・気が散るものを見ると落ち着いて授業に集中できないので、前の方の席がよい。
- ・自分の意見を一方的に話してしまい、小学校ではホームルールでトラブルになることが多かった。事前に内容を本人に伝えておく話しすぎることがない。

コミュニケーション

ことばを話す ことばや指示を理解する 発音・吃音など

（例）

- ・口数が少なく、身振りや指さして伝えることが多い。表情の変化はあまりなく、淡々としている。
- ・順序立てて、短い言葉で説明すると分かる。絵とことばで指示内容を書いたカードを見えるところに置いておくと、ことばの指示は省略できる。
- ・発音が不明瞭・イントネーションが独特なので、周りから誤解されることがあり、自分から話さなくなっている。先生から周りに特性を説明してもらい、受け入れてもらいたい。

運動・外出・手先

運動 外出 手先

（例）

- ・自転車で 町のスーパーまで一人で行けた。
- ・指先が少し不器用ではさみやのりを使っての制作は苦手です。小学校では、一つ一つの作業に分けて個別に声掛けをしてもらいました。

感 覚

苦手な感覚 気づきにくい感覚

（苦手な感覚の例）大きな音 肌触り 手の汚れ におい 光 偏食がある を怖く感じる など
 （気づきにくい感覚の例）温度 痛み ぶつかっても気づきにくい など

家庭での様子（中学校期）

記載例

- 家庭でのお子さんの様子について、気になること、支援や配慮が必要なことについて（分かれば対応の仕方も）記入をしてください。
- 変化があった時に更新するとお子さんの成長の記録になります。

記入日	年	月	日	名前	記入した時の年齢	歳（年生）
-----	---	---	---	----	----------	-------

困っている時の様子やその対応

どんな時に困ったり不快に感じますか

（例）

- ・急な予定の変更があった時
- ・うるさい時
- ・急に話しかけられた時
- ・痛みや不快がある時
- ・返答に困る質問をされた時
- ・自由な時間など、今やることがわからない時
- ・人と意見が違う時、対立する時

困ったり不快に感じた時にどんな行動をとりやすいですか

（例）

- ・動けなくなる
- ・黙ってしまう
- ・大きな声をあげる
- ・一方的に話す
- ・走り回る
- ・テンションが上がる（下がる）
- ・こだわりが強くなる
- ・ニヤニヤする
- ・耳をふさぐ
- ・無気力になる
- ・自傷・他傷
- ひきこもる

対応の仕方が分かれば書いてください

（例）

- ・活動に見通しが持てるよう、絵や文字でスケジュールを示す
- ・別室でクールダウンさせる
- ・見守ってくれる人が寄り添う
- ・落ち着いてから、ゆっくり話す
- ・次の行動について、具体的な指示をする
- ・気持ちを代弁してあげる

興奮時の様子やその対応

どんな時に興奮したりしますか

（例）

- ・楽しすぎたり興味のあるものがあると興奮しすぎてしまう
- ・音楽に合わせて体を動かす活動
- ・ほめられて調子に乗った時

興奮した時にどんな行動をとりやすいですか

（例）

- ・大きな声を上げる
- ・テンションが高くなりすぎる
- ・一方的に話す
- ・走り回る
- ・体の調整がきかなくなる

対応の仕方が分かれば書いてください

（例）

- ・静かな刺激の少ない所に移る
- ・カーテン等で落ち着ける環境を作る
- ・アップテンポの音楽を避け、ゆったりとした音楽を低音量で流す
- ・「すごいね」と高い声でほめるのではなく、「OK」「それでいいよ」などと低い声で承認を与える程度に留める

学校での様子

登校 指示理解 学習 授業参加 忘れ物 行事参加 友達関係

（例）

・グループ活動で全体の見通しが立たないと不安で固まってしまうたり、はっきり言われないと、自分の役割がつかめない。最初に手順と完成イメージが示されると落ち着くことができた。物をきちんとそろえたり、同じ数ずつ並べたりといった、単純作業が得意なので、そのような役を与えられると、きっちりと早くこなすことができた。

・みんなの前で発表するとき一方的に話しすぎてしまう。あらかじめ話す項目が決まっていると話しすぎることがない。

・他のことに気が取られやすく、よく忘れ物をする。先生からメモを取るようになってもらったり、必ず目にするところにメモ帳を入れる工夫をしたことで、忘れ物が半分少なくなってきた。

家庭での様子（中学校期）

記載例

- 家庭でのお子さんの様子について、気になること、支援や配慮が必要なことについて（分かれば対応の仕方も）記入をしてください。
- 変化があった時に更新するとお子さんの成長の記録になります。

記入日	年	月	日	名前	記入した時の年齢	歳（年生）
-----	---	---	---	----	----------	-------

好きなこと・得意なこと

好きなこと・もの 得意なこと できること・がんばっていること

（例）

- ・好きなことは、ゲーム、プラモデル作りなど
- ・好きな食べ物は、カレーライス、オムライスなど
- ・得意なことは、数字の記憶力が抜群で錠前のロックナンバーや暗証番号などをよく覚えていること
- ・最近がんばっていることは、妹の荷物を持ってくれる、自分で簡単な料理を作れる（トースト、ラーメンなど）

保護者の思い

保護者の思いについて自由に書いてください

（例）

- ・思いもよらない簡単なことにつまずいていることがあるので、そのつまずきに気づいて本人に分かりやすく教えてほしいです。
- そのつまずきによる失敗体験が多く、自信を無くすことが多いので、成功体験をたくさんできるようなご指導をお願いしたいです。劣等感を持つような声掛けではなく、安心できる肯定的な声掛けをお願いします。

なんでも記録

ページ内に書ききれない時や楽しかった思い出、苦労したこと、難しかったことなど

思ったことや感じたことを自由にお書きください